

2022 夏休み、食の分かち合いで子育て応援

「学校給食のない時期の子育て応援：食料支援事業」実施報告

NPO 法人フードバンク狛江

【事業実施の目的】

物価の高騰や長期化するコロナ禍が、子育て世帯の生活を圧迫しています。今年度も、地域の子育て世帯を応援するため、「給食のない時期の食料支援」をひとり親世帯や就学援助を受給するふたり親世帯を対象に行います。食への負担や不安を少しでも軽減し、子どもたちと親御さんへの励ましの想いを込めて、夏休みの8月初旬に食品を届けます。

【実施の方法と支援実績】

1)実施対象と申し込み案内について

- ・ 食品提供対象：ひとり親家庭と就学援助を受給するふたり親世帯の18歳以下子ども及び親。
- ・ 想定世帯数と支援人数：200世帯、520人。
- ・ 申し込み方法：就学援助受給決定通知300部と児童扶養手当現況届提出の案内430部に食品提供申し込み案内を同封。

2)実施期間と回数について

- ・ 1世帯1回、宅配便または事務所・倉庫での直接受渡しで提供。
- ・ 申し込み受付期間：就学援助受給決定通知および児童扶養手当現況届提出案内の到着～8月7日
- ・ 発送または受渡し提供期間：8月2日～8月8日

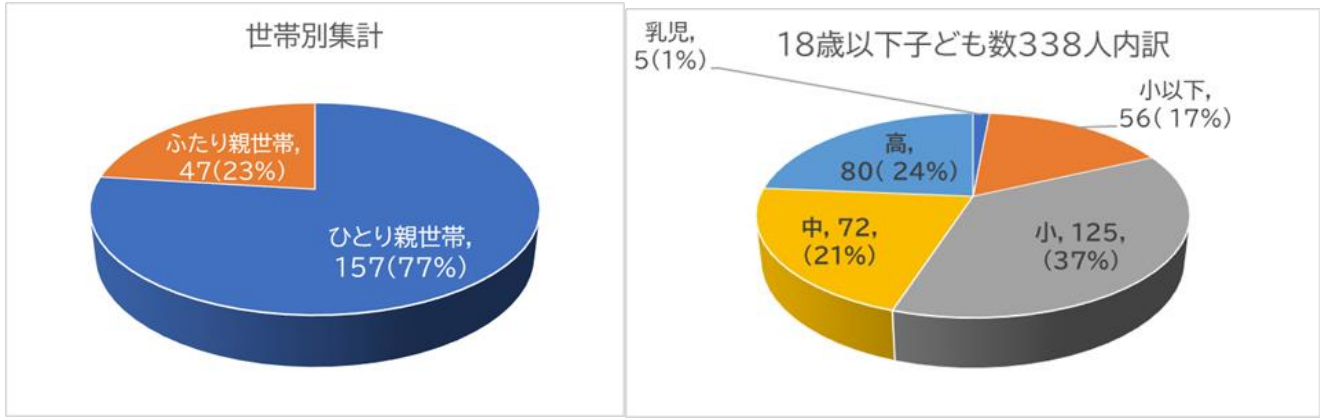
3)申し込み履歴：ホームページ上の非公開申し込みフォームより204件

日別申し込み状況					
7月28日	1	8月1日	89	8月2日	55
8月3日	13	8月4日	17	8月5日	14
8月6日	6	8月7日	9		
総計				204	

4)受渡しの状況：①宅配便(送料当団体負担) 122件(61%) ②事務所での受渡し 82件(39%)

受け取り方法	件数	%
8月5日(金) 事務所で受け取り	32	15%
8月7日(日) 事務所で受け取り	49	24%
宅配便	123	61%
総計	204	100%

5) 支援世帯数実績: 204 世帯、589人 (18 歳以下子ども数: 338 人)



6) 提供食品について:

子ども 1 人世帯用提供食品例



子ども 2 人以上世帯用提供食品例



発送用食品セット例



● 食品提供実績

総重量	お米	一世帯平均	米の一世帯平均
2089.6kg	651kg	10.24 kg	3.2kg

* お米は、生活協同組合コープみらい様の寄贈を受けて提供しました。

【食品集荷目標と実績】

- 想定必要食品量 : 1,500kg~2,000kg (1 人あたり3~4kg)

食品寄贈集荷実績			
	6月	7月	総計
企業・団体	502.3	731.9	1234.2
市民	320.0	272.1	592.1
常設	279.3	282.8	562.1
生協	296.3	350.6	646.9
廃棄	-4.7	-2.6	-7.3
総計	1,393.2	1,634.9	3,028.1
(内米)	485.9	431.8	917.7

食品等提供企業・団体(敬称略)		
明治グループ	3色パステルアート	アサヒグループ食品株式会社
コカ・コーポラトランスジヤパン株式会社	天理教江東分教会	パルシステム東京狛江センター
ポラン広場	モランボン株式会社	尾西食品株式会社
東都生協	株式会社 JR 東日本カステーション	株式会社オシザワ
株式会社プランニングオアシス	株式会社龍角散	コープみらい
大鵬薬品工業株式会社	株式会社ゴールデンレイシオ	狛江三田会
IQVIA サービスズ	町田華嚴院	市民の皆さま

7)同封書類と食品以外の提供品

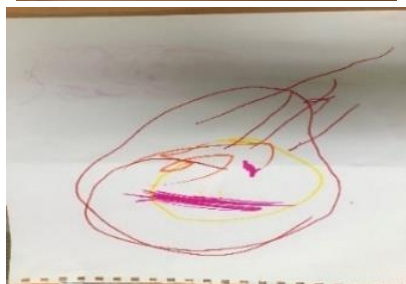
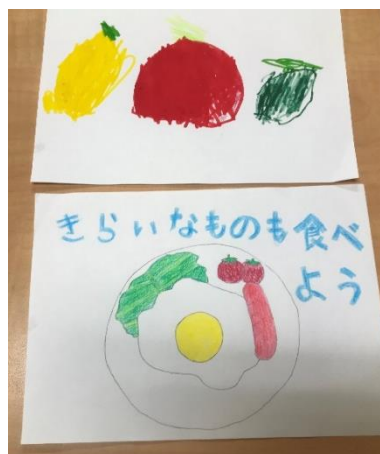
- ①手書きのメッセージカード ②セット食品の賞味期限とオンラインアンケート案内
③子ども食堂ひかりっこチラシ ④こま YELL チラシ

【広報】

- 紙媒体:食品寄贈呼びかけチラシ2000作成。ニュースターに同封及び公営掲示板、町内会、市内公共施設、連携団体、各戸ポスティング。
- インターネット媒体(ホームページ、facebook)に掲載。
- 「広報こまえ」7月1日号、コマラジ(こまえ FM ラジオ)出演 6月24日。

【お渡し会】 *手指の消毒やマスク着用を徹底して実施しました。

- 8月5日(金)、7日(日)の2日間に81世帯が直接受け取り。
- お米5kgとコスメ、プラス調味料、飲料、お菓子を1点ずつ選んでもらい、お子さん連れにはさらに追加のお菓子を選んでもらう。2日間でお米405kg、その他の食品68kgを提供。
- 子ども連れで受け取りに来られる方に、好きな食べ物や食品ロスなど食に関する絵やお手紙を持参してくれたお子さんに、知育菓子をプレゼントしました。2日間で6人のお子さんが絵を書いて持って来てくれました。



【実施経過】

5月16日	夏休み子育て応援検討会
5月29日	食品寄贈呼びかけチラシ完成 / ニュースレターNo.31 完成
6月13日	町内会、公営掲示板掲示用チラシを市役所に搬入
6月16日	子ども政策課と子育て応援食料支援事業の打ち合せ
6月20日	学校教育課と就学援助受給世帯への食料支援事業打ち合せ
6月24日	コマラジ出演
7月1日	12月1日号広報こまえ掲載
7月11日	就学援助受給決定通知・児童扶養手当現況届への申込案内 730 部搬入
7月16日	パルシステム東京狛江センタのフードドライブ品寄贈
7月31日	夏休み食料支援申し込み開始
8月2日	食品セット・宅配便送付開始
8月4日	食品セット・宅配便送付
8月5日	第1回お渡し会
8月7日	第2回お渡し会 / 夏休み食料支援申し込み終了
8月8日	食品セット・宅配便送付終了
8月17日	アンケート締切、集計

【収支決算報告】

収入		支出		
内訳	収入金額	費目	内訳	支出実績
助成金	150,000	印刷製本費	食品寄贈周知チラシ(2000部)	6,200
寄付金	215,358	印刷製本費	ニュースレターNo.31(800部)	4,770
		通信運搬費	宅配便代金(123個)	102,025
		通信運搬費	集荷私用車両使用運転(33日)	33,000
		通信運搬費	切手代	1,208
		消耗品費	資材購入費カゴ台車棚(2台)	21,600
		消耗品費	配送用ダンボール(100枚)	17,655
		消耗品費	コピー用紙、消毒液、インク、小袋等	35,900
		人件費	食品管理等スタッフ給与(130H)	143,000
合計	365,358		合計	365,358

*この事業は「一般社団法人生活クラブ福祉事業基金 2021年度新型コロナウイルス感染拡大による緊急助成 第5次」を活用して実施しました。

【事業実施の振り返り】

2022 給食のない夏休みの子育て応援食料支援では、204世帯 589 人(うち 18 歳以下子ども 338 人)に食品を届けました。長引くコロナ禍に戦争の影響による物価の高騰で、想定を上回る申し込みがあり、2018年夏休み支援から44世帯のひとり親家庭に食品提供をはじめて以降最多の支援数でした。昨年夏の支援から就学援助を受給するふたり親家庭への支援をはじめましたが、ふたり親家庭からの申し込みが増えています。

フードバンクからの支援申し込み案内が同封されている狛江市からの通知がまだ届かないと、7月末から問い合わせが数件あり、アンケートの回答にも「子ども夏休み前にフードバンクさんから、ご連絡がなかったので、今回は、頂けないのかな…」と書いていたのですが、頂けて、良かったです。」など、多くの方が心待ちにされていたことを実感しました。最初の2日間で申込フォームから支援世帯総数の 70%から申し込みがありました。

今回もオンラインで支援世帯を対象にアンケートを実施し、食品を受け取った感想や物価高の影響を質問しましたが、経済的な困難を抱えて子育てされる世帯に大きな家計への負担を強いていることが分かります。また、フードバンクのスタッフや食品を寄贈していただいた市民や企業への感謝の声がたくさん寄せられました。詳しくは別紙の集計結果を参照ください。

また、お渡し会ではじめての企画で、お子さんに”食に関する絵やお手紙を書いてくれたら、知育菓子をプレゼント！”は、6人の参加にとどまりましたが、次回はプレゼントや周知を工夫して取り組みたいと思います。

■ 食品を受け取った感想

食品寄贈やスタッフに感謝する声が多く綴られています。やはり、お米とお菓子が喜ばれていることが分かります。(アンケートの抜粋):

- ・段ボールにぎっしり食品が詰まっているとは思わなかったので、驚きと感謝の気持ちでいっぱいです。病気がちで炊事が困難な為、子どもがひとりで食べられるものは嬉しいです。ご支援してくださった皆さま、荷造りや発送準備をしてくださった皆さま、皆さまの暖かい気持ちに私も子どもも笑顔になりました。
- ・お菓子が多くて嬉しい(子供から)、お米などうちではすぐ消費するので助かります。ひとり親が入院した時などもスポットでご支援いただける仕組みがあると安心です。
- ・たくさんの食材支援ありがとうございました！帰宅して息子と…楽しく仕分けるのもいまは楽しみになっています。このサービスについて子供が質問してきました。説明をして大事に頂く事への感謝を持ってくれたと思います。
- ・スタッフの方々がいつもとても親切です。寄付をして頂いた方々にお礼申し上げます。
- ・いつもありがとうございます。受け取りの際もとても親切にご対応下さり、心が温まります。「楽しい夏休みになりますように」の手書きのカード、冷蔵庫に貼っています。嬉しかったです。
- ・食べ盛りの子供が二人おり、夏休み中と言うことで普段以上に食費がかかっているのが有り難くいただいております。お米は特に嬉しいです。

■ 物価が上昇していますが、生活にどのような影響がありますか？

アンケートに答えたほとんどの家庭が物価の高騰に頭を悩ませています。安い食材や買え控え、まとめ買い、特売品狙い、料理の工夫などで子どもには不自由させないよう子育てを頑張っている様子が切実に綴られています。

(アンケートの抜粋):

- ・ダブルワークで働き出しました。自分の時間が減り、テレビも見なくなり、体調を崩すと元々の仕事も続けられなくなるので、体力的にいつまで働けるか心配です…。
- ・子供が高校生になるとひとり親の手当もどんどん減り贅沢をしていなくても女親ひとりでは生活がきついです。極力品物によって安いスーパーを選び野菜は使える物は皮も使ったりしてはいます。
- ・買った野菜など食品ロスにならないように安い時に買ったものを野菜などは切って冷凍して使うなどしています。
- ・子ども達にしっかり食べてもらえるように、自分の分は少量で我慢することも増えていました。
- ・ガスや電気代もどんどんあがってきて、暑くてもなかなかエアコンに踏み出せず 迷いますが水シャワーでクールダウンしてます。
- ・消耗品が高くなっているので大変です。ティッシュは半分にして使っています。
- ・洗剤を、専用のものでなく重曹やセスキなどの色々な用途に使えるもので代用しています。小さくなった子供服をウエスにしたり、状態のいいものはフリマへ出品したりしています。
- ・なるべく買い物に行かないようにしています。必要なものだけ買って、他のものは見るだけで食べたつもりになっています。

■ この食品が皆さまの生活にどのように役立っているのか具体的にご記入ください。

寄贈された食品が、この物価高のなかで給食のない夏休みに届くことに、とても感謝されていることが伝わってきます。また、生活の助けになるだけでなく、精神的にも苦しい生活で孤立しがちな気持ちをこの支援が少しでも和らげ、励ましになっていることを多くの方が書かれています。

- ・一番大変な時は悲観的になりましたが、気にかけて寄付してくれる人々が存在すると思うだけで、心が温かくなります。精神的な孤立感が和らぎます、ありがとうございます
- ・小学生の息子はお菓子がたくさんで、とても喜んでました。コロナに感染し家族で発熱して元気になりましたが、まだ体力が戻らないので、まとまった食材が届いて、感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・子供の夏休みで食費が増える中で、大変ありがたい取り組みです。保存食も自身で購入するには高価な物が多いので助かります。
- ・お米や飲み物などの必要不可欠な物から、いつもは買ってあげられないお菓子、長期保存可能な備蓄品まで、多くの方々々に支援されて救われていると実感しております。
- ・市民・企業の方々、いつもありがとうございます。ひとつ残らず大切に主に子供達が喜んで頂いています。食品というだけでなく、安心するような、心強いような、そんな気持ちになります。
- ・少しでも心が安心し優しい気持ちになりました。子供達に、この食品がどうやって私達に届けてもらったのか？どんな思いで送ってくれたのか？話す機会をもてました。本当にありがとうございました。

アンケートの回答にこめられた想いは、私たちにとっても大きな励みになっています。この子育て応援を今後も継続できるよう、「食の分かち合い」の仕組みにしていくために、行政も含めて地域の課題として提起していく必要を痛感します。